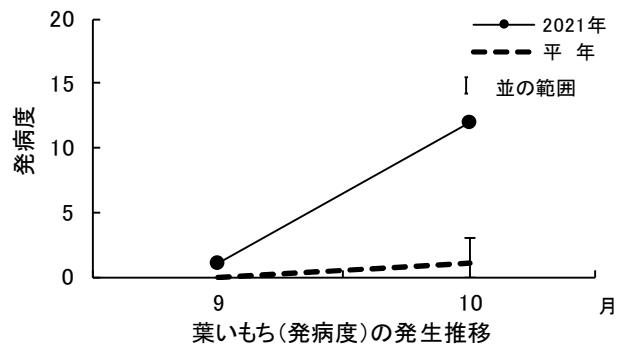
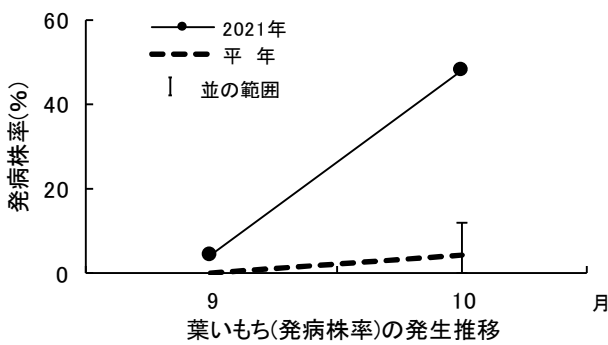


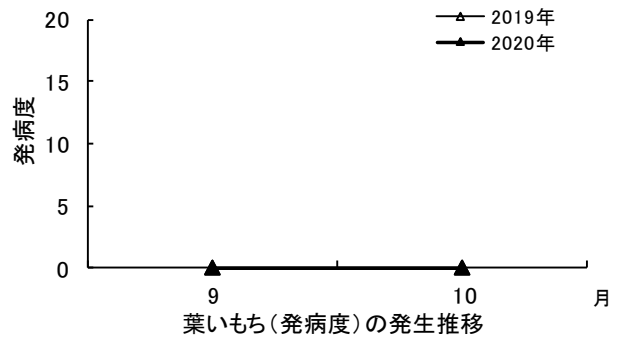
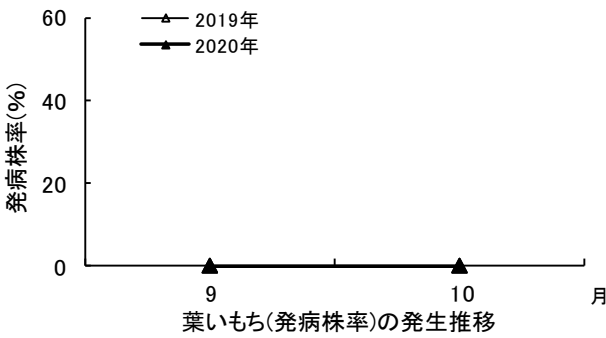
作物	水稻	地域	八重山群島
病害虫名	葉いもち病		
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	10 月からの増減傾向	—	
	11 月の発生量 (平年比)	—	
予報の根拠			

調査結果

今期と平年の推移




過去2年間の推移



・発生ほ場率：69%（平年値：59%）

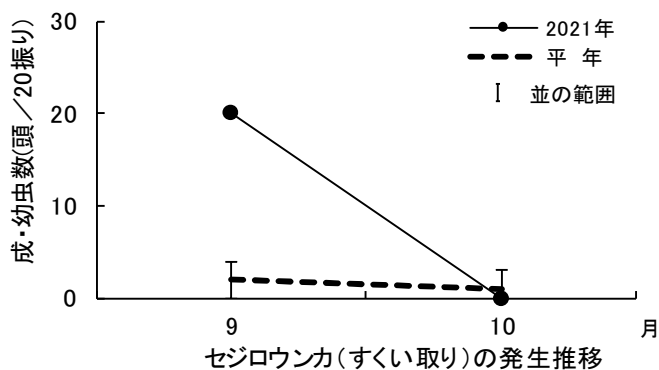
防除のポイント

・被害わらは次作の感染源となるため、ほ場外へ持ち出し処分する。

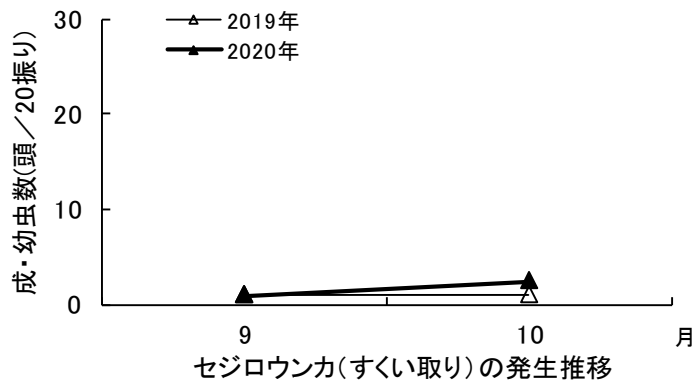
作物	水稻	地域	八重山群島
病害虫名	セジロウンカ		
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	並	
予報	10 月からの増減傾向	—	
	11 月の発生量 (平年比)	—	
予報の根拠			

調査結果

今期と平年の推移




過去2年間の推移



発生ほ場率：44% (平年：58%)

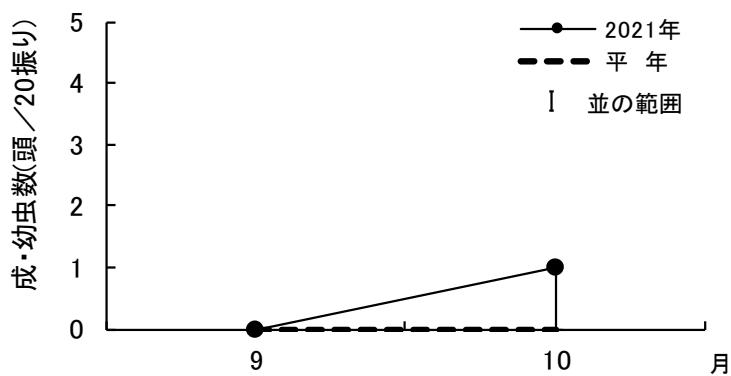
防除のポイント

・ウンカ類は株元に生息するため、薬剤防除を行う場合、株元に十分に薬剤がかかるように心がける。

作物	水稻	地域	八重山群島
病害虫名	ツマグロヨコバイ		
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	並	
予報	10 月からの増減傾向	-	
		11 月の発生量 (平年比)	-
予報の根拠			

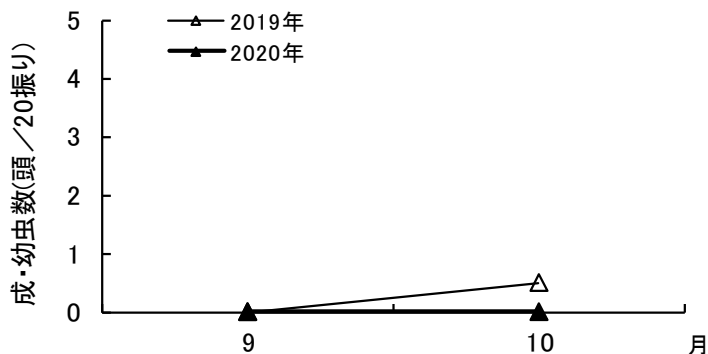
調査結果

今期と平年の推移



ツマグロヨコバイ(すくい取り)の発生推移

過去2年間の推移



ツマグロヨコバイ(すくい取り)の発生推移

・発生ほ場率：50% (平年値：40%)

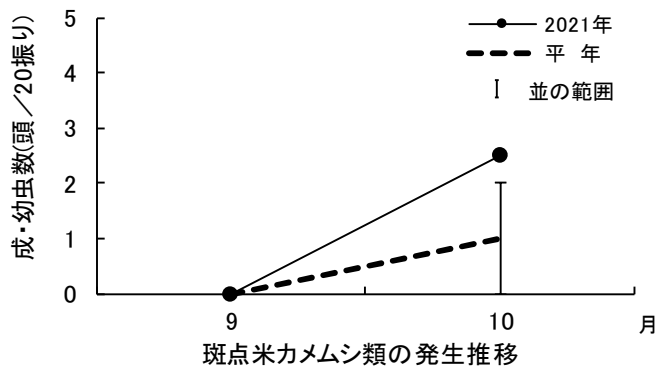
防除のポイント

- ・水田周辺の雑草防除を行い、発生源を少なくする。

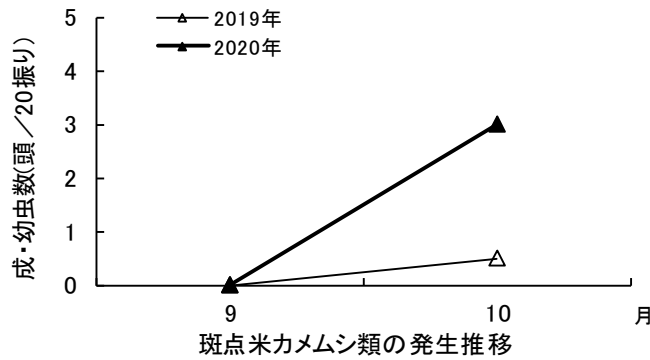
作物	水稻	地域	八重山群島
病害虫名	斑点米カメムシ類		 <p>クモヘリカメムシ</p>
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	10 月からの増減傾向	—	
	11 月の発生量 (平年比)	—	
予報の根拠			

調査結果

今期と平年の推移



過去2年間の推移



- ・発生ほ場率：69%（平年値：53%）
- ・発生種：ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、アカカメムシ

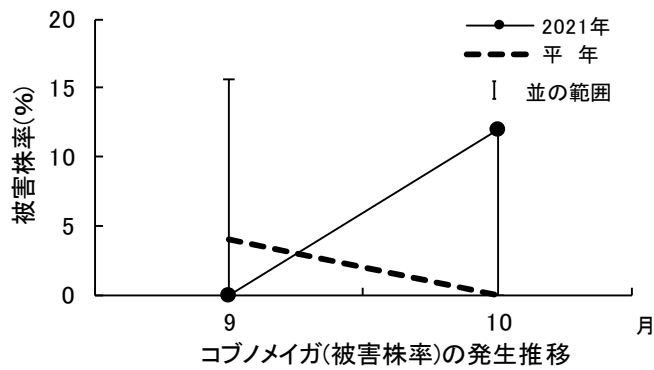
防除のポイント

- ・次作に向けた密度低減を図るため、畦畔および水田周辺の除草を行う。

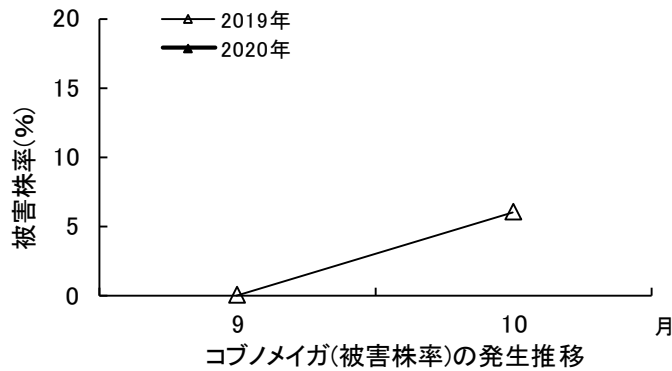
作物	水稻	地域	八重山群島
病害虫名	コブノメイガ		
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	10 月からの増減傾向	—	
	11 月の発生量 (平年比)	—	
予報の根拠			

調査結果

今期と平年の推移




過去2年間の推移



・発生ほ場率：81%（平年値：48%）

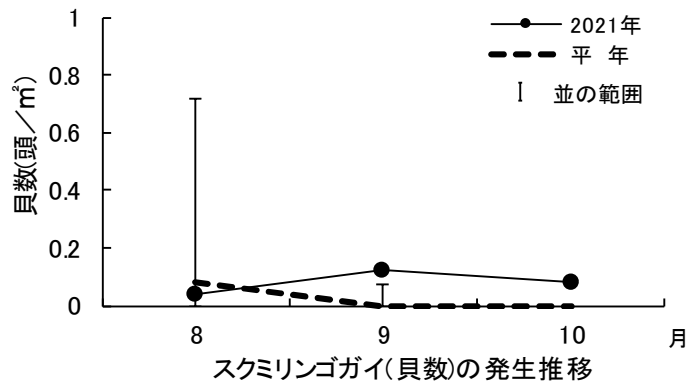
防除のポイント

・老齢幼虫は防除効果が劣るため、粒剤では成虫発生最盛期、粉剤及び液剤ではその約 1 週間後に薬剤防除を行う。

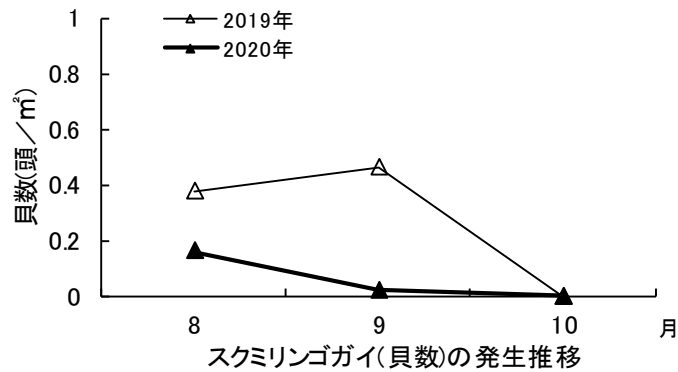
作物	水稻	地域	八重山群島
病害虫名	スクミリンゴガイ		
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	10 月からの増減傾向	—	
	11 月の発生量 (平年比)	—	
予報の根拠			

調査結果

今期と平年の推移



過去 2 年間の推移



・発生ほ場率：50%（平年値：21%）

防除のポイント

- ・次作に向けた密度低減を図るため、貝や卵塊は見つけ次第捕殺する。
- ・畦畔および用排水路周辺の雑草を除去し、産卵場所を作らない。